

1.全体

1.1 対象

漫画形式になっていないページは**アノテーション対象外**です.



2.テキスト

2.1 対象

テキストが**アノテーションの対象**となるか否かは、物語に関わりがあるかを判断の基準とします.
セリフ、モノログや状況説明は**アノテーション対象**です.



背景中の文字、効果音、キャプション、ノンブル(ページ数の表記のこと)は**対象外**です.

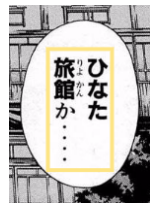


2.2 入力

数字や記号の入力(全角半角等)は原則, 漫画本文に従って下さい.
漫画特有の表現等でテキストに起こせないものはなるべく近い表現を記入して下さい.

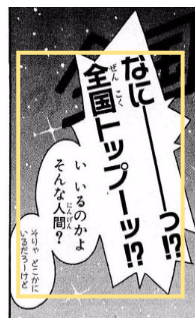
2.3 バウンディングボックス

バウンディングボックスはフキダシではなくテキストにつけて下さい.



2.4 繋がったフキダシ

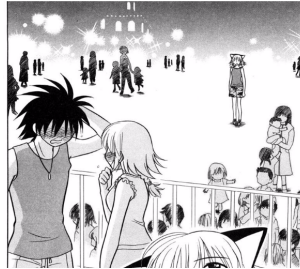
複数のフキダシが繋がっている場合はひとつのアノテーションとして扱って下さい.



2.キャラクター

2.1 対象

群衆等の、重要性がほとんど無く、背景として扱ってよいキャラクターはアノテーション対象外です。



上記の例外として、顔が書いてあるキャラクターはアノテーション対象です。ここで「顔が書いてある」とは「顔部分の50%が画面に写っており、かつ”目、鼻、口、まゆげ”のうち一個以上のパーツが書き込まれている」ことを指します。また顔部分とはキャラクターの「顎から眉毛の上まで」を指します。



また、極端に小さいキャラクターは顔の有無等に関わらずアノテーション対象外です。小ささの基準は、「ツールを使ってアノテーションする操作が困難である程度」とします。



2.2 一部のみ写っているキャラクターについて

あるキャラクターの身体の一部が写っている場合は、キャラクターの50%もしくは頭部が写っている場合 **アノテーション対象**として下さい。

×



キャラクターの50%, 頭部どちらも写っていないため**対象外**

2.3 名前について

2.1のような群衆や物語への関わりが薄い、台詞の無いキャラクターについては名前を「Other」としてアノテーションして下さい。

キャラクター名が分からない場合、一冊の中からキャラクター名を探して下さい。それでも分からないキャラクターは「女A」(セリフはあるものの名前が無い場合)や「太郎」(苗字のみが分からない場合)等で構いません。

2.4 顔について

アノテーション対象となる顔の定義は2.1と同様に「顔部分の50%が画面に写っており、かつ”目、鼻、口、まゆげ”のうち一個以上のパーツが書き込まれている」ことを指します。2.1と同様に顔部分とはキャラクターの「顎から眉毛の上まで」を指します。



左: 目は描かれていないが、あると考える

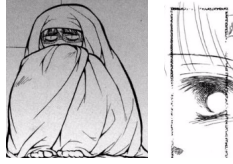
中: 横顔はアノテーション対象

右: 顎が見切れているが、顔の50%が写っている

×



前面が写っていない



写っている範囲が顔の50%未満

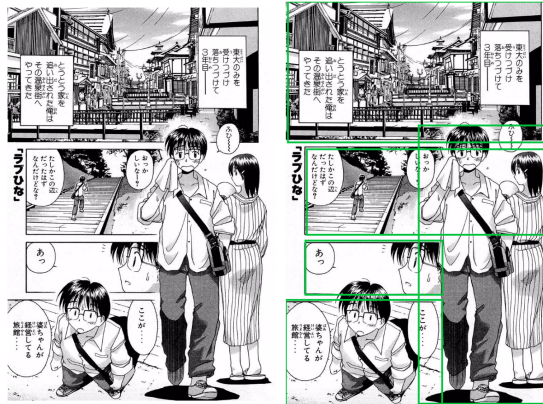
2.5 人間以外のキャラクターについて

人間以外のキャラクター（動物やロボット等）に関しても物語に関わりがあると判断した場合はアノテーション対象です。ただし、顔のアノテーションをつけるか否かは「顔が人間型であるか否か」で判断して下さい（例えば犬は人間型の顔ではないのでOverAllのみでFaceはつけないで下さい。人間型のロボット等の場合はOverAllとFaceどちらもつけて下さい）。

3 コマ

3.1 境界が曖昧、もしくは無い場合

境界が曖昧、もしくは無い場合でも、ひとつのコマとして考えるべき部分はコマとして扱って下さい。



3.2 変形コマの場合

バウンディングボックスは「変形コマを囲む最小の矩形」として下さい。

